

さいたま市新クリーンセンター整備事業の受注について

新日鉄エンジニアリング株式会社（以下、当社という。）（代表取締役社長 羽矢 惇）を代表企業とする入札グループ（構成員6社^{※1}）は、さいたま市（市長 清水勇人）より「さいたま市新クリーンセンター整備事業」を受注いたしました。

本事業は、「熱回収施設」「リサイクルセンター」「管理・余熱体験施設」の設計・建設及び維持管理・運営、旧し尿処理施設の解体撤去、並びに旧埋立処分場の適正閉鎖及び閉鎖後の維持管理・運營業務からなり、ごみ処理事業としては前例のない異業種・大規模複合施設の建設・運營業務です。事業方式は、施設の設計・建設及び維持管理・運営を一括して発注するDBO方式^{※2}にて行われます。新日鉄エンジニアリング・極東開発工業・奥村組特定設計建設共同事業体（3社JV）がさいたま市と建設工事請負契約を締結し、株式会社エコパークさいたま（構成員6社の共同出資にて設立した特定目的会社）がさいたま市と維持管理・運營業務委託契約を締結しました。

本事業においてさいたま市は、既存最終処分場延命化のための重要施策の一つとして、可燃ごみ、し尿汚泥、不燃残渣等の熔融処理に加え、市内の他焼却工場の焼却灰についても熔融処理を行い、熔融スラグを有効利用することとしています。長期安定稼働実績を有する当社シャフト炉式ガス化熔融炉は、ごみ質の変化への対応と熔融固化物の品質に優れ、上述のさいたま市のニーズに応える提案が評価されました。また、事業範囲が多岐に渡る本事業において構成企業各社が持つノウハウ等を十分に発揮する適切な役割分担も高く評価された点であると考えております。

本件の受注で、当社のシャフト炉式ガス化熔融炉の国内受注実績は合計36件、首都圏の政令指定都市向けとしては初めての受注となります。また、PFI手法によるごみ処理事業の実績は累計6件目となり国内最多件数です。当社はこうした事業実績の蓄積を基に、今後とも資源循環型社会の実現に寄与する所存です。

- ※1 当社、日鉄環境プラントソリューションズ(株)、極東開発工業(株)、(株)クリーン工房、(株)奥村組、極東サービスエンジニアリング西日本(株)
- ※2 公共が資金調達を行い、民間事業者が施設を設計（Design）、建設（Build）し、契約期間に亘り、管理・運営（Operate）を一連で行っていく方式。施設は公共の所有となる。

<事業概要>

- 1) 事業名称：さいたま市新クリーンセンター整備事業
- 2) 発注者：さいたま市
- 3) 受注金額：53,482,035,431円（消費税及び地方消費税額を含まず）
- 4) 受注日：平成22年6月25日
- 5) 竣工予定：平成27年3月
- 6) 運営期間：平成27年4月～平成42年3月（15年間）
- 7) 業務内容：
 - ①ごみ処理施設 建設・運営
（シャフト炉式ガス化溶融炉 190t/d×2 炉、発電約 8,300KW）
 - ②リサイクル施設（91t/5h） 建設・運営
 - ③管理・余熱体験施設 建設・運営
（環境啓発ゾーン 延床 約 2,000 m²）
（余熱体験ゾーン 延床 約 4,000 m²）
 - ④旧し尿処理施設解体撤去
 - ⑤旧最終処分場適正閉鎖・運営

<株式会社エコパークさいたまの概要>

- 1) 商号：株式会社エコパークさいたま
- 2) 所在地：さいたま市中央区新都心1-1番地2さいたま新都心LAタワー30階
- 3) 設立：平成22年5月25日
- 4) 資本金：5000万円（最終的に4億円まで増資予定）
- 5) 出資者：

新日鉄エンジニアリング株式会社	(出資比率 44%)
日鉄環境プラントソリューションズ株式会社	(" 42%)
極東開発工業株式会社	(" 9%)
株式会社クリーン工房	(" 2%)
株式会社奥村組	(" 2%)
極東サービスエンジニアリング西日本株式会社	(" 1%)
- 6) 代表取締役：杉永慎一（すぎながしんいち）

[本件に関するお問い合わせ先]

新日鉄エンジニアリング株式会社

総務部広報室 03-6665-2366

「施設完成予想図」

